

一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 北海道特別支援学校へのフットサル巡回指導活動報告

- 報告者 吉田 順 省
- 報告期日 令和2年12月18日(金)
- 実施校 北海道北斗高等支援学校
- 巡回指導者 吉田 順 省
- 当該校担当教諭 戸倉 広 晶 教諭
- 実施日 令和2年12月15日(火)
- 実施日程
 - ① 10:50 ~ 12:40 1.2年生(生徒数22名) 合同体育授業
 - ② 13:25 ~ 15:15 3年生(生徒数17名) 体育授業
 - ③ 15:45 ~ 16:45 北斗・上磯高校合同部活動(計18名)

○実施概要

① 1.2年生体育授業

初めにウォーミングアップとして一人ひとりがボールに触れてもらえるようなドリブル中心のメニューを行いました。その後、グループで行うシュートの要素を取り入れたゲーム形式のメニューを行いました。最後に試合形式で生徒同士、教諭チームとの対決を行いました。フットサルというスポーツを通じて、楽しみながら何事も取り組むこと、協力することや応援することの大切さや仲間の大事さ等を伝えさせていただきました。北斗高等支援学校の生徒の皆さんはとても明るく積極的に授業を受けて頂き、笑顔溢れる楽しい授業になりました。

② 3年生体育授業

私が2年前に巡回指導で伺ったことを皆さん覚えて頂いており、最初からとても明るい雰囲気の中、授業を行うことが出来ました。内容としましては1.2年生同様に一人ひとりがボールに触れられ、3年生ということもあり少し難しいメニューを行わせて頂きました。その後はグループで行うドリブル、シュートの要素を取り入れたゲーム形式のメニューを行いました。最後に前の時間同様、試合形式で生徒同士、教諭チームと対決をしました。4月から社会人になり、フットサルというスポーツを余暇の一環として行い、健康で楽しい生活を過ごして頂けたらと伝えさせていただきました。

③ 北斗・上磯合同練習会

北斗高等支援学校と上磯高校は校舎が繋がっている特徴のある環境の中ですが、昨今の新型コロナウイルスの影響で交流も以前より少なくなったようです。内容としましては部活動ということもありフットサルの要素を取り入れた技術的な練習を行いました。パスやコントロール、シュートといった内容で行い、最後は試合を行いました。インクルーシブな活動で有意義な時間を過ごす事が出来ました。

○総括

新型コロナウイルスの影響で学校行事がほぼ中止になり、生徒の皆さんは学校生活での楽しみがなくなってしまう状態であるようです。恐らく他の学校様の生徒の皆さんも同様だと感じております。楽しい時間の提供も大切だと強く感じ、フットサルというスポーツを通じ学校では教わることの出来ない人との関わり、優しさや思いやり、楽しむことや笑顔の大切さなど、たくさんのことを伝えることが出来ると信じています。最大限の感染対策をし、出来る限りこの活動を行い、少しでも生徒の皆さん、学校様のお役に立てることが出来たらと強く感じた今回の巡回指導となりました。コロナ渦ではありますが、楽しい時間とたくさんの笑顔が溢れる活動を行い、インクルーシブ社会の実現を目指す為に努力致します。

